

刊夕 日二月八



定価 一月五拾五圓 半年五拾圓 一年九拾圓
 電話 六三三〇
 印刷所 常磐毎日印刷株式會社

日本精神と神社 (八)

石城郡神社總代人大會席上演筆記

國學院大學教授 河野省三

又二宮忠八さんが飛行機を發明したのは明治廿七年であるが、徳川十一代將軍の時に飛行機を發明した人がある、夫れは岡山の經師屋さんの幸吉といふ人である、これは其の發明した爲めにたとひ慰みにもせよ、人の見ず知らずのものを拵へて人を驚かすのは不届の至りであるといふので遂に岡山を追放された。江戸時代に發明をしてもうっかりするとかういふお咎めを被るから公表はしませぬが、實は時勢に追られて色々な發明をして居るのであります。歐洲大戰の際に獨逸軍が困つた揚句發明して聯合軍を苦しめたものはあのタンク(装甲戰車)であります。必要なのは無軌道車輪であります、所が其の車は日本に於てつと以前に發明されたものであります、其の發明を利用しなかつただけであります。然う云ふ

潮聲俳句【三】 第四十六回句選 會場木兎莊

暑き日を爽竹桃の咲きほこる
 一叢の竹に水打つ夕へかな
 ほつかりと糸瓜二た葉明易し
 はろかにて蛙鳴くとも思はるゝ
 客去りてわか身吹かる扇風機
 炎天や野を見廻りの草帽子
 通水碑ありて青田のつづくなる
 田植する唄聞き合ひぬ旅の道
 訪へは老鶯の啼くしきり(勿來關)
 若竹に間借り明るく住ひけり
 せらさや明易き夜を温泉の二階(箱根)石
 濡れた手で蚊を叩きつゝ野風呂哉
 草刈りてもとれは山羊のふふと鳴く
 大霧の晴れて滅法蒸し暑し

素秋 機柳 放光 隅川 審雨 さい女 二葉 蘭外 武門 孤舟 石城 晚霞 中納言 松堂

やうな發明は昔から幾らもある、平安朝以來日本人は色々な發明をした記録が見えてをります併ながら發明はしてもそれを應用する社會的事情が存在しなかつたのであります、今日でも段々新聞を御覽になると色々な發明が出来て居る、而も中には日本では發明は金にならないので外國へ高價な專賣特許權を幾らも賣つて居るものがあるのであります。總て日本人は眞似をすることも上手だが發明する事も決して他民族に劣りませぬ、嘗て米國の學者の調査した所によりますと米國に於て世界的科學的の發明をしたものが、數に於ては獨逸人が一番でありますが併し米國に居る各國人の數に比較してその割合から行くと日本人が一番多いのであります、私は今後は益々立派な發明者が出ると思ひますが、これは日本精神の一大特色だらうと思ひます。而も吾々日本人は東洋に偏在して永く國を鎖して居つたが爲に科學的な物質的な發明と云ふものは割合に不得手なのである、それですら可なり驚くべき發明をしてゐる、況んや精神的發明は非常なものがある、例へば武士道の如き世界に於

てこんな立派な精神的産物は、界に於て武士道と云ふものは少い、今日日本では殆んど武士道と云ふものが忘れられて居りますが、今や世には二つの理由がある。

旭硝子株式會社製品 板ガラス

赤菱印 菓子食器 硝子壺 其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町(電話一七〇番)

大和田醫院

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

外科

X光線科 性病科 外科

入院隨意

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

漆器は専門が

品質の正確と!!! 値段の破格と!!!

在庫品豊富と!!! 懸命の奉仕は!!! 弊店のモットー!!!

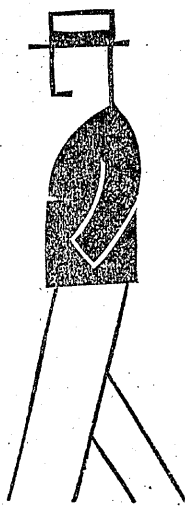
丸共共榮漆器店

各國産漆器 専門卸小賣 平町三丁目北裏(元郵便局裏通り) 記念表彰品 進物贈答品 恩賜賞與品 賞品景品類 御注文應調製 ◎店員募集(十三四才より二十三才まで)

夏服

軽くサラリとした新製品を豊富に取揃へました。

シルクポーラー三層... ¥17.00
 シルクポーラー上下... ¥12.00
 トルピカル上下... ¥7.50
 黒セル上衣... ¥3.00
 純毛白セルづぼん... ¥2.50
 白直衣... ¥1.20



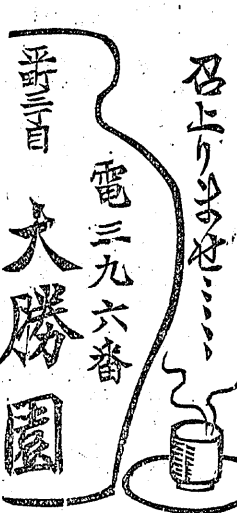
おかや洋服店 平電二〇三

川本 本場新茶入荷

一斤に付 四〇より 一、〇〇まで 新家庭用ほうじ茶

斤 六〇 四半斤 一五錢 斤 四〇 一〇錢

御家庭用 京清水焼 御前茶器 番茶器 組三〇錢より



青田賣り始る

▽豊作疑ひなしの反面
▽金の必要に迫られて

昨年より幾分高値

連日の炎暑で石城地方の稲作は別項の如く頗る成績よく心配してゐる病虫害の発生も殆どないので農民は豊作疑ひなしと喜んでゐるが金の必要に迫られ青田のま

先約束の米賣りもぼつと現れ来り米穀ブローカーが乗りこみ土地の商人を介して相當約束を結んだ者がゐる相場は十一月末日渡しで三等六圓五十錢で五十錢の現金を入れてゐるが昨年と比較すれば一二十錢の高値である

の栽培が非常な成績を納め傳習生自から車を曳いて直接需要者の手に販賣してゐる、一方温室栽培のメロンも極めて好成绩で大きくなつてゐる八月中旬から皆さ

んの手もとに賣出せるでせうと語つてゐたが此の同場栽培のマスクメロンは埃及地方の原産で甘味と芳香を非常に尊重されてゐる

出場至難

費用の關係で 磐中と平商

濱三郡中等學校野球試合は来る九日午前九時より双葉中學グラウンドに於て行れるが磐中及び平商にては費用其他の關係から目下出場如何を考慮中であると

暑くとも

製氷の配給は

平年より少い

麥作改良

綠肥栽培

分場で傳習

毎日百度近くの酷暑と苦闘しつつある平町市民に氷の配給を一手に行ふ平製氷會社は去月下旬頃迄は一日千餘貫の配給であつたのが最近では連日千三百貫を下らず今後千五百貫を突破すると見られて居るが水の需要も不景氣には敵し難く配給は平年より約二割の減額を示して居ると

石城郡神谷農事試験分場では来る十六日午前九時より夏期特別傳習會を開催會津分場の高根技手が講師となり麥作改良及綠肥の栽培に就いての講演がある筈

青年團の移動講習

勿來の海岸に

明日出發する

既報石城郡下青年團移動講習會は明日より三泊四日間勿來海岸に於て野營の形式に依り行れるが會員は各分團二名宛七十九名あり是れを六班に分ち二班宛を一團とし各係員が指導する筈にて一同は明日午前十時磐中校庭に集合午後一時二分にて目的地へ出發す

農試分場

石城郡 神谷村 農試分場では この毎 日九十

度を超破してゐる炎天の下で傳習生二十餘名の甲斐々々しい努力に依り今年は桃

稲作には良いが

畑作は憂慮さる

打續く昨今のえん天

石城郡下各村の稲作は目下分蘗期を控へ打續く炎天に恵れて發育良好であるが一方最も水利の必要とする畑

作物は既に水不足を告ぐるに至り作物中には赤くなつたものあり減收を憂慮されて居る

受験準備

けふ終る

既報磐城中學校々友會にては受験者の爲め去る二十一日より毎日漢文、英語、數學等の講習會を開いて居たが本日をもって終了した

飯野火防協議

石城郡飯野村火防組合では今日午後三時より同村小學校に於いて役員改選及び組合費納入奨励の件に就き協議した

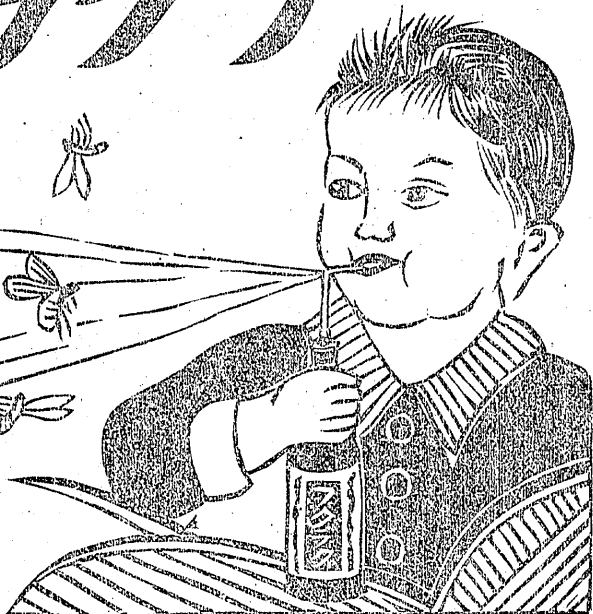
平の温度

- 平裁判所 九一、〇
- 平刑務所 八六、〇
- 平役場 九一、〇
- 土木監督所 八九、〇
- 平警察署 八九、〇
- 團體事務所 九〇、〇
- 平稅務署 九〇、五
- 平郵便局 八八、〇
- 平驛 九二、〇
- 平營林署 九一、〇

平町人事

- 回出生
 - △新川町一 鈴木市三氏六男睦
 - △八幡小路五七 小野榮一氏二女榮子
 - △鎌田町四七 松崎長太郎氏四女アヤ子
 - △鷹匠町六 森忠三郎氏二男忠志
- 回死
 - △間町八一 阿部清藏

クラクラ



蠅蚊・南京虫・油虫・羽虫・蚤・虱退治にほんの少しで一たまりもなく死ぬ

平町新川町(電一七二)

代理店長 松崎商店

大室屋

初夏サロンの新装

店内清楚にして氣持良く

- アイスクリーム 十五錢
- タンク入りソーダ水 十五錢
- ドーゾ御用命を……

田町 サロンの 電話……三五二番

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します 往診 呼吸器病ばかりではありません

川井内科診療所

醫學士 川井重之 女醫 川井安子

魔のふちの巖頭に

立つ失戀若人

盆踊りの賑かな笛太鼓に

愚さを悟り自殺を中止……

湯本町議の息子

探し同夜九時平湯食堂淺田善三郎方にて

石城郡湯本町水野谷農大八次男鹽崎猛(三)假名は去る廿九日夜十一時頃平湯灣の俗に魔の淵と稱する巖頭より投身自殺を圖らんとしたのを

附近の者に救助され平湯警部補派出所にて保護を加へつゝある旨平署に照會あつたが同派出所の萩谷警部補取調の結果に依る

最後の 酒をくみ前記の淵へ投身すべく巖頭に合掌中勿來町方面より笛太鼓の囀りも賑かに盆踊の聲が聞えるので暫し聴き入つてゐるうち數多の人々が斯く愉快に踊り狂ふにも拘はらず失戀や些細な家庭の不和位に何故死の途を選ばねばならぬかを考へた時自分の愚さを覺り死を思ひ止め再び

同青年の父は町會議

員區長等の名譽職にある裕福な家庭に育つたものであるが同人の語る處によれば警中卒業後上京某高工に在學中神經衰弱に陥り昨年七月歸宅静養してゐたが偶々隣家の花芳静枝(三)と

相思の 仲となり夫婦

約束までしたものの、兩親が許さずために家庭に不和を生じ兩親は勿論兄弟とも折合ひ悪しく搦て、加へて愛する静枝も變心し他へ縁付いてしまつたので人生の無情を感じ二十六日家出自殺を決定して各所を彷徨二十日平湯町に至り死場所を

検事局が

結びの神

變心した女房に

一緒になれと説諭

妻の變心を怒り出刃庖丁を以つて脅迫し懲役六ヶ月但し執行猶豫三年間の恩典ある判決を受けた双葉郡熊町村大字小入野字南澤平一番地魚行商中野辰吉(五)は刑務所を出ても途方にくれて居るので平湯検事局にては同情し明日妻ソヨを呼出し再び夫婦となつて圓滿に暮す様説諭する由

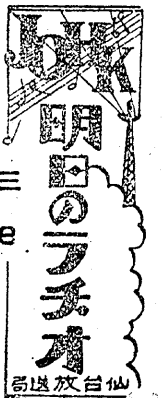
見舞品を

休憩中に失敬

石城郡飯野村字北白土阿部兼吉(三)は昨夜九時頃東京に居る長男三治(三)の病氣見舞に上京せんと平驛待合室にて休憩中驛前賣店で求めた見舞品の桃籠を何者かに窃取されて平署に届出た

神谷舞子行軍

石城郡神谷村青年訓練所生十餘名は明三日午前八時同村小



明日のラヂオ
報豫氣天
今夜は南よりの風、明日は南東の風、午後には次第に雨模様となる

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「オリムピックに日本は勝つか」春日俊吉
- 後六、二〇 ヒドモの新聞
- 村岡花子
- 後六、二五 カレントトピックス
- ハロルドパーマー
- 後七、三〇 趣味講演「白河城外の悲戦」江見水蔭
- 後八、〇〇 映畫物語「ミラクルマン」仙石雷蹊
- 伴奏指揮宇賀神味津男
- 後八、三〇 三曲「壽鏡」
- 越野榮松外
- 後八、五〇 連続浪花節
- 「橋英男第二席」東家樂燕
- 後九、三一 滿洲より

綴の放火は

土地賣買の

もつれから

昨報石城郡内郷村大字綴字堀坂廿五居住芳野廣次妻クラ(三)が昨日午後零時半頃隣家筋内留次方屋根裏にボロ包を以つて放火した事件に就いては本日佐久間警部補以下が實地檢證を行つて原因取調中であるが兩名は以前非常な懇意の間柄にあつた處本年四月頃より土地の賣買の事から互ひに感情を害し次第に反目本年六月頃からは全く往來もしない絶交の姿に陥り女だけに狭量なクラは遂に放火の罪を冒すに至つたものであると

涼しい刑務所

所長が氣を揉む

本紙に毎日掲載される諸官廳の溫度表に依ると刑務所がイツでも最低溫の涼しさを示して居るので此の暑さの最中避暑のつもりで刑務所入り志願者が増加しては大變と本庄所長が寒暖計の置き處に氣を揉んで所内の暑苦しさを探し廻り寒暖計を掛け變へる度に毎に額の汗をぬぐつては「ウーム、ウーム」

昨日から始る

吃音講習會

既報吃音講習會は昨日午前九時より平第一小學校に於て開始したが出席會員は多數あつたと

裁判所たより

- 石城郡植田町大字植田字金畑二十七番地自動車運轉手田重次郎(三)は本年四月十七日貨物自動車を運轉進行中茨城縣北相馬郡六郷村常磐線踏切に於て折柄進行し來れる貨物列車に衝突汽車往來の危険を生ぜしめ過失往來防害罪として罰金三十圓
- 同郡上遠野村大字根岸字

明日の部

- 後九、三〇 時報 全國ニユース 氣象通報 組
- 後九、二〇 料理献立「茄子の胡麻汁」中村光三
- 前九、三〇 家庭講座「聲望の教育」東京聲望學校長樋口長市
- 後〇、〇〇 オリムピック大會狀況 米國NBCロサンゼルス放送局より中繼
- 後二、〇〇 運動競技(雨天順延)全國中等學校野球大會東北豫選大會狀況 福島市協會グラウンドより
- 後八、五〇 連続浪花節
- 「橋英夫終席」東家樂燕

中繼

- 後六、〇〇 子供の時間
- お話「あぶないおはなし」醫學博士西谷宗雄
- 後六、三〇 山と海の講座(三)木曾の御嶽と駒ヶ嶽 帝室林野局名古屋支局長眞崎修
- 後七、三〇 運動講座「都市對抗野球戰の陣容と豫想」橋戸頑鐵
- 後八、〇〇 管絃樂(新交響樂團練習所より中繼)
- 日本放送交響樂團 指揮ニコライ、シケエルブラ
- 後八、五〇 連續浪花節
- 「橋英夫終席」東家樂燕

平職業紹介所報告

- 回求人部
 - △外交員 四十才以下 高卒 給料歩合(平町某)
 - △女中 三十才迄 尋卒 月二圓(平町某旅館)
 - △倉働 三十前後 月十圓(中村町某)
- 回求職の部
 - △配達 二十三才 高卒 給料面談(平町某)
 - △雜夫 三十一才 高卒 給料面談(内郷村某)
 - △通勤店員 十五才 尋卒 給料面談(好間村某)
 - △店員 二十一才 高卒 給料面談(平町某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第百十六席 眞庭念流の達人櫻井五助

知らぬ佛の林藏

林藏は再び座敷に來た時
何にも知らない藤藏が

藤藏「親分何んでございませう」

林「何につまらねえ事だ、
おやまあ子供みたいな事を
云つてゐやアがる」

藤藏「有難いね、その子供み
たやうな幼稚なところが
値打だねえ、女郎に米は一
升幾何しますなどと云はれ
ては酒もうまく飲めねえか
らね、世の中を知らねえと
ころが有難い」

林「それにしてもあんまり
馬鹿々々しいから」

などと誤魔化してゐた、
便所へ行くと立つて行つた
林藏歸つて來ると

林「藤藏厄介な事が出來た
鴻之巢の間屋場でナ、雲助
が間違をして大事になりさ
うだから直に來て呉れと佐
兵衛さんから呼びに來た、
どうも行くことは出來ねえ
と斷るわけにも行くめえ、
ちよつと俺は行つて來るか
らは頼むせう」
藤藏「さうですか、一緒に行
きませう」
林「何、てめえ達が行く程
の事は無え俺が行つて何ん
とかして來るから」

云ふと藤藏と仙太郎が
糸「親分鴻之巢へお出でな
らばお供をいたしませう」
林「イヤ、一緒に來る程の
事はあるめえ直に歸つて來
るから、藤藏大分肴が荒れ
たやうだ何かかはつた肴を



取つて客人にうめえ酒を御
馳走しろ」
云ひ置いた林藏駕を仕立
てそれに乘、上尾の山城屋
を出た鴻之巢へ行くかと思
ふと宿外れで
林「駕屋もう此處で宜い」
駕「鴻之巢までお伴を致し
ます」

林「イヤ、少し思ひ出した
用がある、その方を先にす
るから此處で下りるぞ」
駕「さうでございませうか、
どんな用か知りませんが此
處までお供を致しませう」
林「イヤ、俺はブラ／＼歩
いて行くそれから山城屋
へ歸るには少し手間を取つ
て行け、デ向ふで聞いたら
鴻之巢まで送り込んだと云
つてくれ、さアこれは酒代
だ」

林「有難うございませう」
かご屋は林藏を下して歸
つた、直ぐ足立屋に來て
林「阿母ア」
しておくれ、それから山城
屋へ人を遣つておやまを呼
んでくんな、實は今まで飲
んでゐたんだ何か俺にこみ
入つた話があるとかそれで
此處へわざ／＼出て來た、
云ふまでもねえ事だが林藏
が來てゐると云つちやア困
る、秩父の井上大盡が來た
と僞う云つておやまを呼ん
で來てくれ」

女「オヤ、親分さんお珍ら
しいぢやアございません
か」
林「新座敷が出來たさうだ
な、それを見物に來た」
女「恐れ入りましたね、御
覽に入れるやうなお座敷ぢ
やアございませんよ」
林「アア宣、其處へ通
し」

女「ハイ、宜しうございま
す」
女將が立つて行く、女中
が手あかりを持つてくるお
酒が出る一杯飲んでゐると
バタ／＼足音がしてチユウ
／＼と鼠啼きをしながらサ
ラリと障子を明けて入つて
來たはおやま、年は明けて
廿三、女郎盛りです、江戸
で産湯を流したただ何處と
なく氣の利いてゐる色のク
ツキリと白い面長な顔の道
具の揃つた丈のサラリと高
い粹な女です

御用命印刷物の總代理
常磐毎日印刷株式會社
電話三六〇番

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
松村 門專
腸胃病 腸胃病
院醫科 腸胃病
七〇一話電町南平

女「ハイ、宜しうございま
す」
女將が立つて行く、女中
が手あかりを持つてくるお
酒が出る一杯飲んでゐると
バタ／＼足音がしてチユウ
／＼と鼠啼きをしながらサ
ラリと障子を明けて入つて
來たはおやま、年は明けて
廿三、女郎盛りです、江戸
で産湯を流したただ何處と
なく氣の利いてゐる色のク
ツキリと白い面長な顔の道
具の揃つた丈のサラリと高
い粹な女です

吉田眼科病院
平井屋町、電話六八番

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番

市原醫院
平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院院隨時

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

磐城セメント會社特約店
久全屋商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
良品廉賣に勝る商略なし
確實敏捷は久全の生命なり